

おうちのはなし

267

静かに夜を思えば良い。その上には星月があり、人は千代に見上げてきた。
天井のあることも忘れ、社会と繋がる窓は手の平の中にある。
今時、どこにここにも、頭を下れていればかりを見かける。



和と洋のデザイン考

—日本と西洋の住宅デザインを考える

- ・シンメトリーと違い
- ・バーティカルラインと水平線
- ・アースカラーと生成り

『かっぽう着』

昔、母は着物を着ていて、その上にかっぽう着を着ていた。毎日、白いかっぽう着なので、母がどんな着物を着ていたのかあまり覚えていない。

それよりも、手首に輪ゴムが何本か無造作にはめられていたことの方をよく覚えている。いろいろと使う用途があり、その都度取りに行くのが面倒だから手首にはめていたのだろう。

そういえば、八百屋さん、魚屋さん、お肉屋さんは、くるりと新聞紙などで包んで輪ゴムをビンとかけて渡してくれていた。

もしかすると家でそれを解いた際、捨てるのももったいなくて、次の使い道の時までと手首に巻いていたのかもしれない。

小学校に上がる頃には母は着物から洋服に変わった。

友人のお母さんはおしゃれで華やかなエプロンをつけるようになったが、母は変わらず洋服の上からかっぽう着を着ていた。ポケットの中には小銭やハンカチ、子どもの鼻をかむティッシュ、などが入っていたようだ。

そうそう、手首の輪ゴムもポジションを変えずにそこにいた。

最近私も時々着物を着るようになったのだが、台所に立つ際、エプロンは具合が悪い。

かっぽう着を探すのだが、なかなか種類が少なく閉口している。

洋服の時でもかっぽう着を着てみると機能的に優れている。手首がキュッと締まり、なかなかの使い勝手である。キッチンは、キッチン以外の思いがけない風景を子どもの心に刻んでいるのかもしれない。



ママはインテリアコーディネーター

一般社団法人 日本インテリアアテンダント協会 理事長 小川千賀子

和と洋

のデザイン考

日本と西洋の住宅デザインを考える

樹木に囲まれた右の家の写真を見て、あなたは日本的に感じますか、それとも西洋的に感じますか。ほんのちょっとしたデザインの違いで、日本的にも西洋的にも感じるものです。どのようなところで違いを感じているのでしょうか。和と洋のデザインの違いを住まいづくりにも活かしてみましょう。

シンメトリーと違い

たとえば下の写真は典型的な西洋式のガーデンです。見ればわかる通り、左右対称にできています。この対称性をシンメトリーといい、西洋では大切な美しさの要素になっています。ですから寺院などでも、シンメトリーのデザインがほとんどです。



一方、日本庭園にはこのような対称性はありません。社寺の配置でも、日本では中国から伝来してまもなく、塔や金堂は非対称に並べられています。

それはインテリアでも同じで、身近にある床の間には違い棚がつくられます。私たち日本人にとって見慣れたものでも、この違い棚のデザインを西洋人が見ると感動します。この「違い」の感覚は、ワビ・サビにもあって、西洋的な器はしっかりとシンメトリーが保たれており、茶の湯で好んだ地物の茶器は、形の崩れたものに趣を見いだしています。

反面、シンメトリーなデザインには、しっかりと形を整理した秩序が生まれます。いかにも均整がとれた合理的な

デザインはとても西洋的です。上の写真も風景を除けば、窓の配置も含めて左右対称です。ひとつだけ煙突の位置が対称を崩しています。それを考えれば、この一枚の写真を西洋的に感じる人と、日本的に感じる人がいてもおかしくありません。

確かに一見すると平屋のように見えるこのような家は、世界中で見られます。たとえば赤毛のアンで有名なプリンス・エドワード島のグリーンゲブルも同じです。ゲブルとは、この写真のような単純な2つの屋根面を組み合わせた屋

根のこと、日本では切妻屋根といわれます。屋根が三角に見える側を「妻」といい、軒先側を「平」といいます。

ペディメントと平入り

同じような切妻の屋根でも、洋と和ではちょっとした違いがあります。和のデザインでは平側が正面になることが多い、洋のデザインでは妻側が多くなります。たとえば伊勢神宮の本殿は平側が正面の平入りで、その他京都の町家や多くの民家にも、日本では平入りが多く見られます。



一方、ヨーロッパの町並みを思い起こすと道路に対して三角の屋根が並んでいる風景を見かけます。西洋風の代表として、古代ギリシャの神殿を思い浮かべてみてください。柱の上に三角の飾り屋根があります。この三角屋根の飾りをペディメントといい、妻入りを伝統的なデザインとしています。もし洋風のデザインにしたいのであれば、妻入りのデザインにするか、ペディメント風の飾りをつけると良いでしょう。

ただ欧州にも平入りの民家はたくさんあり、日本でも出雲大社は妻入りになっています。それだけが和と洋のデザインの違いではありません。

和と洋のデザイン考

パーティカルラインと水平線

和と洋の建築は、木造と石造の違いで語られことがあります。石を積んでできた建築物は必然的に壁が中心となり、木を組んだ建築物には柱が立ちます。

柱を立てることを考えると、縦のラインが強調されたデザインとなるようになりますが、和のデザインでは柱以上に屋根の軒先の水平線が強調された印象を受けます。



それに対して、洋のデザインでは前ページの写真を見てもペディメントを支えるための柱が並びます。じつは洋のデザインでは垂直線のパーティカルラインが強調されています。大きな壁に小窓が整然と並ぶことでも同様にパーティカルラインが強調されています。



つまり外観の印象は、水平線を強調するようにデザインすると和のデザインに感じ、パーティカルラインを強調すると洋のデザインの印象が強くなります。

もちろん細かい部分では、日本にも縦のラインを活かした連子格子などもあります。また飛騨高山の白川郷にある合掌造りの家のように、切妻面が正面となるデザインもあります。それでも、私たちはほんのちょっとした違いで洋和の差を感じています。

その差を感じさせるのは軒の出の深さにもあります。なによりも雨が多い日本では、深い軒を持つことは建物の寿命の為にも、そしてさらには過ごしやすい室内環境を得るために必要なことです。当然のように、長く延びた軒がつくり出す影も水平線になります。その暗い陰影に浮かぶように屋根の水平線はさらに強調されます。軒の下にも同じように長い縁側が水平に伸びています。

ウインドウと間戸

これらの縦と横のラインのイメージを助長しているのが開口部です。和を感じさせるポイントに、引き違い掃き出しの窓があります。柱と柱の間に立てられた戸=「間戸」が日本のマドです。引き違いの大きな窓は、軒の影に飲み込まれる



の水平線を強調させたデザイン様式はブレイリー様式風となります。水平線とウインドウの家です。アメリカの建築家フランク・L・ライトに代表されるブレイリーで、アメリカの大草原にふさわしいデザインとして、伝統的なデザインに組み込まれました。

これらのデザインのポイントを押さえると、まったく同じ間取りでも洋風と和風のデザインを検討することができます。平面図上では同じ1間の開口部でも、和風では引き違い掃き出しの窓とし、洋風では半間の縦長窓を連ねれば良いのです。

オーナメントと面皮

さらに和と洋のデザインは、細やかなアイテムを配置することで、追求することができます。

洋のデザインでは、窓台を始めとして窓周りにさまざまな化粧をします。アーチ状の窓を使ったり、窓枠にカラフルな色を配したりします。窓には鉢植えの花も良く飾られています。そのための花台にもさまざまな形状があります。さらには切妻部の棟下の壁に、家の象徴となる紋章を飾るのも良く見かける光景です。こうした建物飾りのオーナメントで、それぞれの家に家族の個性を表現しています。

右の写真も一見してみるとまったく違うデザインの住宅ですが、よく見ると間取りはまったく同じ家のようです。家は住まい方の違いではなく、オーナメントによるデザインの違いで差が出るのであります。

和のデザインでは余分に部材をつけることはありません。特に住宅では過度な装飾はむしろ削ぎ落とされてきました。茅葺きや板葺きに比べれば瓦葺きには装飾性がありますが、華美なものではありません。内装でも正しく製材された木材を使わず、樹皮部が残された面皮の材を使うことを好んだほどです。



さらに腰高の窓とするか、掃き出しどとくするかという点も大きな違いです。間戸である日本の開口部では、基本は掃き出します。しかし洋風のウインドウではまず考えられません。現代でこそ観音開きのドアもありますが、伝統的な洋風のデザインには見えなくなってしまいます。

色彩にはカラフルなものが多いものです。こうした色合いの違いも、デザインをまとめ上げるには大切な要素です。そのヒントはそれぞれの国の自然の風景の中にあります。

たとえば南フランスの大地を眺めれば、目に入る土の色と樹木の緑は、私たち日本人が日頃眺めている土や木の色とは明らかに違います。日本人の目で見ると、土の色はオレンジ色に近い赤茶色で、そこに育つ樹木の色も明るい緑に見えます。

オレンジ色と黄緑の組み合わせは、多くの日本人には違和感のある配色ですが、この地に育ってきた人にとっては自然の色合いです。そしてそれぞれの地域の自然色がアースカラーとしての伝統色になります。建物だけではなく調度品にも、アースカラーが使われています。



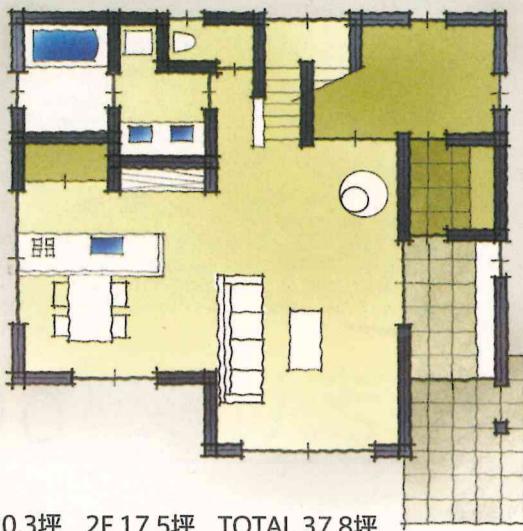
日本の風景にある色合いは、スギやヒノキなどの青味の強い緑と、湿気の多い、ややもすると黒く見える土が日本の色合です。自然の色が違えば、色合いの感覚も違うものです。

さらに洋のデザインでは、アースカラーに従ってペイントで塗ります。これに対して和のデザインでは、ほとんどの建材は木材も土も生成りの色で使われます。ペイントは褪せてくると塗り直しますが、生成りの木材は少しづつ色が変わってきます。白木はやがてあめ色になり、さらにいぶされて年数を経た木材はやがて黒に近くなります。一度塗ってしまうと、簡単には生成りの色に戻すことはできません。



現代はまさにグローバルの時代です。情報時代も進み、世界はさまざまなおこころでつながっています。そして、海外に出かけ交流を持つ人も大いに増えました。どのようなデザインを好んで住宅をコーディネートするかは、自由に選べます。たとえ似たような間取りでも、デザインのポイントの抑え方で、洋のデザインも和のデザインも実現できます。住まいづくりのデザインを楽しんでみてください。

キ
ニ
ナル
マ
ド
リ



1F 20.3坪 2F 17.5坪 TOTAL 37.8坪



オープン・リビング

玄関から廊下を通って居室に入る家は、外国人には異様に思えるらしい。家の中の開かれた空間であるリビングは、できる限りパブリックに使えるように配置してあるのだ。クローゼットも生かされるようになる。



趣味の世界

それぞれが自分の趣味に集中しつつ…
互いの意見も何げなく聞いてみたりできる距離です♪



趣味の部屋

チェア	SOGO／ノックス	天井クロス	サンゲツ／SP-7201
デスク	デザインクラブオリジナル	壁クロス	サンゲツ／SP-7201
シーリング	KOIZUMI／AHN636404	床フローリング	大建工業／HDU
ブラインド	タチカワ／AB-7002 R-055	木製 扉	日本グラビア／2104-521
アクセントクロス 東リ／WEN5209	タチカワ／AB-7002 R-055	ハンドル	ユニオン／AUL1018-029N/M B
アクセントクロス リリカラ／LL-1923		幅木	日本グラビア／1839-520

すまレピ[®]
すまいのレシピ

403
住まいの
オーダーメイド館

ゴトモクのウチマド

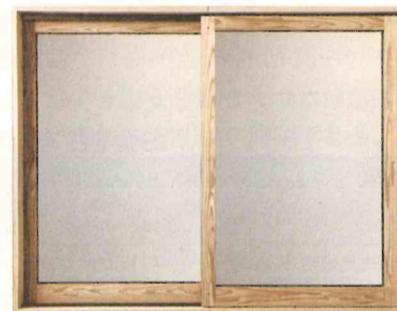
暖房の熱が窓などの開口部から逃げる割合は約60%、半分以上が窓から失われています。住まいの省エネは、この熱の損失を抑えることが肝心です。解決方法のひとつが既存窓の内側に、もう一つの窓を取り付ける「内窓」。元からある窓と内窓の間に空気層ができ、断熱効果を高めてくれます。

その内窓を木製で商品化したのが後藤木材。国産木材の調達、品質の確保の問題を解決したのが各地域産材を使え

る独自の圧密技術(圧力をかけて木の強度を高める)です。

木製内窓は断熱性、結露の軽減、省エネ効果だけでなく木素材ならではのあたたかみがあることが魅力です。

窓枠の厚みは10cmで、既存のマンションや一戸建ての窓に施工しやすく、後付けリフォームとして注目の商品です。「ゴトモクのウチマド」とは後藤木材の内窓の商品名です。



後藤木材 株式会社マイウッド圧密事業部

ひとに教えてくなる チョッといい話

ウチマドの採用第一号は、いっしょに開発をしてきた工務店の役員邸。木製内窓が違和感なくなじみ、「住んでしまうとすぐに慣れてしまい以前との差が分かりにくいですが、朝晩の冷えが気にならなくなりましたし、やはり常に快適です。自信をもっておすすめできます」とのお言葉をいただきました。窓のリフォームに検討してみませんか。

●価格:お見積り ●仕様:杉(枠)、杉の圧密加工(障子框) ●サイズ:オーダー対応
●403掲載商品: G-0536_003

www.order403.com/

health & sustainability

家は樹木の高さを越えないように

公園の中にあるような住まい。誰でもが夢にみるような住環境です。

欧米のルールの中のひとつに、建物の高さは樹木の高さを越えないようにするということがあります。

建物は人間がつくったものですが、樹木は自然がつくったものです。自然に対する敬意を込めるためには、自然

がつくった樹木の高さを越えてはならないということです。

樹木が生長するのには、長い年月が必要です。大気の中に含まれた二酸化炭素を少しずつ、少しずつ吸い込んでは、光合成で炭素化合物に変換して、幹や枝葉を生長させます。

人間は、こうして生長した樹木を活用することはできますが、空気から直接樹木を作ることはで

きません。ましてや、数十年、百年という時間をかけて生産することは、現代社会の中では誰も考えもしません。

森を伐採して、整地をして、道路を塗り固め、新しい家を建ち並べて街を作ります。そこには法律があり、その決まり



りに従えば、ぎりぎりまで建てるのは人間の権利のように感じています。

合理的にものごとを考えるといわれる欧米の方が、自然と共に存するように樹木の高さに合わせた法律を作り、自然と共生するといわれる東洋の思想を持った私たちが、逆に人間の決めことばかりにこだわるのも、不思議なもの。

もちろん、家が建ってから育った樹木もあるでしょう。しかし、こうして家よりも高い樹木に囲まれた風景は、健康で持続性を感じさせる街並みに違いありません。

おうちのはなし

いつかは建てる、
住まいづくりのための、
情報紙「おうちのはなし」

※発行内容は予告なく変わることがあります。



日本の住宅建設の担い手
住まいづくりの手順
長期優良住宅制度
建てるなら、やっぱり木の家
家歴書の価値
洋風デザイン・和風デザイン
建築費の内訳の見極め方
住まいづくりにかかる諸経費
太陽光発電住宅特集
家庭内事故と対策
これからの住まいと暮らし

:

住宅情報紙「おうちのはなし」を年間購読しませんか?

年間24回発行×単価220円+配送料110円
年間7,920円(税込)

毎月1日・15日頃、ご自宅にお届けいたします。

TEL 03-6272-6434
FAX 03-6272-6449

〒102-0072 日本橋蛎殻町1-3-5 7F
www.ouchi874.org/

一般社団法人 住まい文化研究会

リフォームに、新築に、
住まいづくりのセカンドオピニオンをお届けします。

おうちのはなし 220円(税込)

www.ouchi874.org/
発行人:一般社団法人 住まい文化研究会
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-3-5 7F
主筆 石川新治

おうちの家計簿

住まいの資金と税金

こんにちは、
アールです!
L.R.コンサルティング株式会社
代表取締役 吉川浩一

昨年から家を建てたりリフォームをする方の中に太陽光発電だけでなく蓄電池を検討されるケースが増えてきたのですが、先日知り合いの工務店さんからこんな問い合わせがありました。

それは私が一般の住宅購入予定者向けにおこなっているセミナーの中で使っている下記資料についてでした。

「お金を生み出すZEHと蓄電池の効果」の赤マルで囲った部分の金額ですが、ZEH+蓄電池の場合、蓄電池の容量が大きいほど総支出額が多くなる傾向になっているようです。この比較の数字だけを見た結果、ZEHにして蓄電池を設置しない方が最も支出を少なくす

お金を生みだすZEHと蓄電池の効果

蓄電池容量	9.9kWh	4.9kWh	なし	なし
建物価格	2600万円 ZEHオール電化	2600万円 ZEHオール電化	2600万円 ZEHオール電化	2400万円 ガス併用普通の家
太陽光価格(6.3kW) 蓄電池価格	158万円 142万円	158万円 97万円	158万円 0万円	0万円 0万円
ZEH+蓄電池補助金	▲118万円	▲108万円	▲100万円	なし
総額	2782万円	2747万円	2658万円	2400万円
頭金100万円 住宅ローン	2682万円	2647万円	2558万円	2300万円
毎月返済額 (金利1.0%35年)	¥75,709	¥74,579	¥72,208	¥64,925
光熱費 毎月家計支出	¥1,250 ¥76,959	¥1,500 ¥76,079	¥2,649 ¥74,857	¥24,000 ¥88,925
15年間家計支出合計	¥13,852,620	¥13,694,220	¥13,474,260	¥16,006,500

る事ができるように解釈できるのですが、間違っていますか？」

それに対する私の応えは

「いいところに気づきましたね。これは蓄電池の経済効果がまだ太陽光発電の効果より低いからです。太陽光はタダの電気を生み出し、余った電気は売電できます。それに対して蓄電池は太陽光で発電したタダの電気を保存して効率的に使う道具なので、今の蓄電池価格ではこの程度の効果です。ただし、蓄電池には災害などで停電になったときに普段と同じように生活できるレジリエンス効果を期待できます。それもあわせて考えると今の値段でも充分設置の意義はありますね！」

住まい文化の栄

日本へのあこがれ

世界的な家庭用日用品のメーカーであるP&Gの「G」は、創業者の一人であるギャンブル氏の頭文字です。事業を大成功させた後、ロサンゼルスの郊外に自邸を建てて家族で暮らしていました。この家は、米国の重要な歴史的建造物としても登録され、大切に保管展示されています。

この家の中に入り、インテリアの空気に包まれていると、じつはとても日本的な雰囲気になります。それもそのはず、当時のアメリカの万博で建てられた日本建築に影響されて、ギャンブル氏は日本の文化をテーマにしてデザインを進めていました。

玄関のステンドグラスは能画を思わせる松の風景になっていて、各部屋はそれぞれに木材の種類をテーマとして変えながらつくられています。また、床の間や長押の収まりも、デザインとして採用されています。



この設計に携わった建築家が、グリーン・グリーン兄弟なのですが、残念ながら2人が日本に来て学んだ記録はありません。ですから、施主の要望にこたえるために、多くの写真や図面を見ながら、アメリカの地で四苦八苦していたに違いありません。もしかしたら、時には中国建築の資料も混じっていたのではないかと思われる部分もあります。

グリーン兄弟を動かしたギャンブル氏が日本のデザインにあこがれていたことは、ベッドルームのデザインに現れています。収集していた日本刀の鍔のデザインを、インテリアの中に取り入れているのです。鍔に描かれた梅の模様や、曲線を、ベッドルームの壁の模様や、照明器具に再現しているのです。

異国の文化というの、自分たちにはないものを持っているので、とても印象深く感じるものです。私たち日本人の方が、もっと日本的なものに自身を持つて、家をデザインすることが大切なかもしれません。



緑のマット

足元の緑化をすすめて、住宅の省エネルギー化を推進！

ベランダ、テラスやエントランスをはじめ、暮らしのゾーンにはコンクリートの裸地がたくさんあります。夏場の直射日光があたると高温になり、夕方日が落ちても温度が下らずに、室内の温度にも影響を及ぼします。打ち水をしたりして温度を下げることもできますが、部分的

にでも緑化をしておくとかなり軽減することができます。

屋上緑化用の緑化パネルとして多くのメーカーからセット化されたものが販売されていますが、軽量で保水性

のある土壌基盤を造り、乾燥に強い這性植物を使って「緑のマット」を敷きつめましょう。温度吸収だけでなく転倒した際のクッションにもなり、大きな怪我になりません。小さな子どもたちや高齢者の方が居られる家庭ではとくに配慮したいものです。



「緑のマット」推薦植物

名 称	別名・普通名	科名・属名	特 性	有 用 性
ヒメイワダレソウ	リビア・カネスケンス	クマツヅラ科イワダレソウ属	常緑這性小低木	耐暑性があり繁殖力も強い。半耐寒性で、日向を好む。
モリムラマンネングサ	メノマンネングサ	ベンケイソウ科セダム属	常緑多年草	5月ごろに黄色い花を咲かす。冬季は赤く紅葉する。
オオバマルバマンネングサ		ベンケイソウ科セダム属	常緑多年草	中国原産で、耐暑性に優れ最も乾燥に強いマンネングサといえる。
タイトゴメ	タマツヅリの仲間	ベンケイソウ科セダム属	常緑多年草	塩害に最も強いマンネングサで、冬季はオレンジ色に紅葉する。
ボテンティラ・ベルナ	キジムシロ	バラ科キジムシロ属	常緑多年草	耐寒性があり、生育も旺盛。八重品種もある。
リシマキア・ヌムラリア	ヨウシュコナスピ	サクラソウ科オカラノオ属	常緑多年草	耐寒性があり、日本のコナスピの仲間。オーレアの品種がある。
シバザクラ	ハナツメグサ	ハナシノブ科フロックス属	常緑多年草	耐暑性、耐寒性、耐陰性に優れた日本原産のグランドカバー。
タマリュウ	リュウノヒゲの矮性種	ユリ科ジャノヒゲ属	常緑多年草	春から秋にかけて開花し、病害虫にも強い。



Takasho



庭は五番目の部屋。
5th ROOM®



やすらぎのある空間づくり
株式会社タカショーアンドカンパニー 和歌山県海南市南赤坂20-1 お客様サービスセンター 0120-51-4128 タカショーオンラインショップ

